

図書館の本棚から(一般)

2021年1・2月号 亀山市立図書館

テーマ：新書

●日本マンガ全史 澤村修治

草創期から現在に至る日本マンガの主要作家と、「のらくろ」「鉄腕アトム」から「進撃の巨人」「鬼滅の刃」まで、500点以上の作品を一挙紹介。日本マンガの歴史を「物語」として描き出す。

●コミュニケーション・ストレス 黒川伊保子

ほとんどの女性は「プロセス指向共感型」、ほとんどの男性は「ゴール指向問題解決型」という脳の使い方をし、この違いが男女理解を阻む。職場でも夫婦間でも、友人・恋人関係でも有効な、男女間コミュニケーションを伝授。

●ホテル御三家 山川清弘

帝国ホテル、ホテルオークラ、ホテルニューオータニは、なぜ外資系より評価が高いのか。「おもてなし」「老舗の安心感」では片付けられない、御三家の歴史と意外な因縁に迫る。

●「%」が分からない大学生 芳沢光雄

いま、日本では「%」の概念を理解できない大学生が増えている。この問題の本質とは何か。長い間、現在の数学教育に危機感を抱いてきた著者が、これからの時代に必要な「学び」を問う。

●「マニュアル」をナメるな！ 中田亨

ミスが多発する現場には「駄目なマニュアル」がある！人間のミスを研究している著者が、具体的な成功例・失敗例を挙げながら、マニュアル作りにすぐに使えるテクニックを紹介。軽減税率制度の導入に役立つ早見表の例も掲載。

その他

●ニッポンのサイズ図鑑 石川英輔

尺貫法、貨幣単位、二十四節気、七十二候…。日本人がかつて使っていた長さや重さ、時間などの単位の成り立ちと意味を、雑学をまじえわかりやすい言葉とイラストを用いて解説する。

●ぼくの「自学」ノート 梅田明日佳

新聞記事の切り抜きを貼り、感想や調べたことを書き込む「自学ノート」を、小3の春から作り続けている高校生がいる。少年の今を見つめ、少年の未来を拓いてくれる23冊の「自学ノート」を紹介する。

●ネイティブが感動する英語にない日本語 フォークルック乾治

「ってきます」という挨拶をはじめ、日本には一語で英訳できない言葉がある。バイリンガルである著者の経験を踏まえて「英語にない日本語」を取り上げ、「無理やり英訳したらどのような文章になるのか」を紹介する。

●人外サーカス 小林泰三

経営不振のサーカス団を吸血鬼が襲う。団員たちは恐怖し混乱するも、それぞれの特技で対抗し始める。だが、マジシャンの蘭堂はある違和感に気がつき…。サバイバル・ミステリ。

